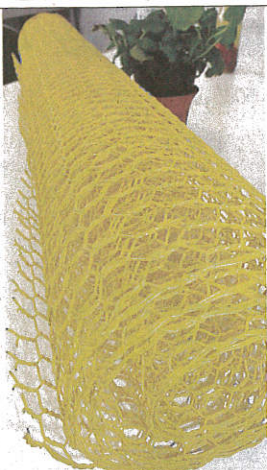


ネズミが去る網 鳥インフル対策

鳥インフルエンザの感染拡大を抑え込むため、ウイルスを媒介するネズミや野鳥の侵入を防ぐという金属ネットを愛知県豊橋市のメーカーが開発した。鳥インフルの感染が拡大し始めた昨年秋以降、地元だけでなく、韓国からも注文が殺到。生産が追いつかず、一時、受注を止めたが、13日から販売を再開した。

メッシュ製造会社「くればあ」が開発したのは、「ネズサル」と名付けた金属ネットだ。同社は歯科医院で口腔内洗浄に使う薬品「4級アンモニウム塩」をフィルターに染み込ませ、鳥インフルエンザウイルスを不活性化させるマスクを2014年に作った。4級アンモニウム塩は農林水産省でもウイルスの増殖を抑える効果があると認められ、鳥インフル対策の消毒剤として使われている。



金属ネット「ネズサル」

豊橋のメーカー開発 注文殺到

トウガラシの辛み成分「カプサイシン」とハーブをビニールに練り込み、網を作る針金の表面にそのビニールをかぶせた。小動物が通り抜けにくいよう、網目は最大で15mmにした。鳥インフルエンザの感染が広がっている韓国からはインターネットでの注文が昨年10月から殺到。日本国内でも今季の感染が確認されると、鶏やウズラなどの飼育が盛んな豊橋市や愛知県田原市のほか、青森、岐阜県などからも問い合わせが相次



「イラコファーム」は鶏舎内に「ネズサル」の設置を検討している＝愛知県田原市

ぎ、発売当初に比べて、6倍のペースで受注したという。鶏卵農場「イラコファーム」(本社・豊橋市)は昨年12月初め、ネットを購入し、約4万羽の鶏を飼育する田原市の鶏舎に設置している。農場はキャベツ畑に囲まれ、ネズミの侵入防止策が課題だったという。従業員は「ネズミの侵入を何とか食い止めた」と話す。くればあでは生産が追いつかず、昨年末にはいったん受注を停止。生産体制を強化して、販売を再開した。中河原毅社長は「殺処分だけは避けたい」という生産者や飼育員の切実な思いに応えることができれば」と話す。

ネットの価格は長さ30m、幅91cmの標準タイプが9万9800円(消費税、送料込み)。10単位でも販売する。問い合わせは、くればあ(0532・514151)へ。(松永佳伸)

日歯連元会長無

東京地裁で初公判「会計任、

政治団体「日本歯科医師連盟」(日歯連)による迂回寄付事件で、いずれも同連盟の元会長で、政治資金規正法違反(虚偽記載など)の罪に問われた高木幹正(72)、堤直文(74)の両被告と法人としての日歯連の初公判が13日、東京地裁であった。いずれも無罪を主張し、「会計責任者に任せていて、違法とは思っていなかった」などと述べた。起訴状によると、高木被告は会長だった2013年の参院選前、支援していた石井みどり参院議員(自民)の後援会に、同法が定める量的制限(年間5千万円)を超える計9500万円を寄付。うち5千万円を、日歯連が支援していた西村正樹参院議員の後援会を経



ひき逃げ容疑者の車

愛知県警は12日、名古屋港区の駐車場で、ひき逃げをしたとみられる軽乗用車を見つけたが、車の移動手続きをしている間に、ひき逃げされた、と発表した。港署員がトイレのために現場を離れていたという。車は再び見つかった。県警は容疑者が車に乗って逃げた可能性があるとみて、窃盗事件として調べている。

署員がトイレ中に…
名古屋 車は後に発見

がを、走り去り、車をひき逃げした。港署員がトイレのために現場を離れていたという。車は再び見つかった。

朝の散歩・新鮮なジュース伸びる背筋

人生の贈りもの

わたしの半生

女優

富司純子(71)

7

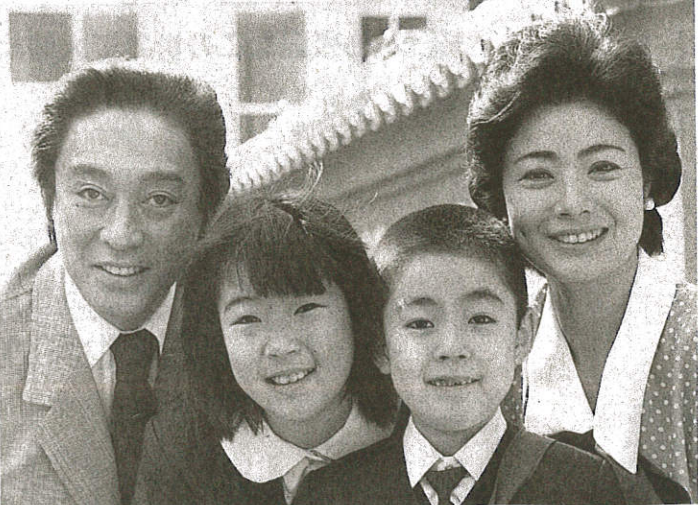
—NHKの連続テレビ小説「てっぺん」で演じた初音さんは、ピンと伸びた背筋がとても美しかったですね。

—朝ドラは半年の長丁場。健康管理が大変だったのではないですか。

—元々お体は丈夫なほうで治りました。とにかく役者は体が丈夫でないといいません。

—体力作りではどんなことをされているのですか。

—私もやってみようかな。結構たいへんですよ(笑)。



長男の尾上菊之助さん(本名・和康さん)が小学校に上がった頃。仕事よりも何よりも家族との生活を優先した。左から夫の尾上菊五郎さん、長女の寺島しのぶさん、菊之助さん、富司さん

—それは藤純子時代か